

第5次
飯豊町
行財政改革大綱

令和3年度 進捗報告書

令和4年3月

令和3年度 進捗総括

GOAL1－GOAL4 住民や多様な団体との協働体制づくり

近隣自治体との連携や民間活力の導入、行政情報の受発信など、一定の進捗が見られるGOAL(改革組目標)があるものの、「手づくりのまち いいで」の基盤となる住民との協働に遅れが見られる。

また、SDGs未来都市としての取り組みも一層の加速が求められる。

GOAL5－GOAL11 無駄を省き事務の生産性を上げるための柔軟な行政組織づくり

行政デジタル化については、着実に取り組みを進めている。令和4年度以降は、マイナンバーカードを活用した事業化など、住民の利便性に直結した取り組みに繋げる必要がある。

また、職場環境の整備や人材育成については、進捗が見られる。令和4年度以降は、行政事務改善のための組織体制整備や事務事業の見直しが必要である。

GOAL12－GOAL17 施策を着実に実行するための健全な財政基盤づくり

健全な財政基盤確立のための歳入確保については、町税等の納付の利便性向上やふるさの納税の取り組みなどを進めている。令和4年度以降は、受益者負担の適正化など、更なる財源確保に取り組まなければならない。

一方、歳出抑制については、大きな進捗、成果が出せていないため、調達手法の改善、維持管理経費の削減等が必要である。

各GOALの詳細は、次ページ以降に記載します。

GOAL1 多様な主体との協働体制を構築しよう

成果目標

協働に関する条例の **制定・運用**

(令和7年度までに)

- 1.a 公民連携などの協働のまちづくりについての町の基本的方針による実行性のある取組みを行うため、行政の責務や町民の役割等を定めた「自治基本条例(住民との協働条例等)」を制定します。
- 1.b 住民主体のまちづくりの核となる地区まちづくりセンターの最適な体制を構築し、多様な活動団体と連携しながら、公民館機能やコミュニティ推進機能を強化した取組みを進めます。
- 1.c 単独自治体では難しい取組みや類似団体からの学びを得るため、置賜定住自立圏構想による置賜管内市町との広域連携、地域連携DMOによる構成市町との連携、NPO法人「日本で最も美しい村」連合による加盟町村との連携を強化します。

令和3年度 改革実績

1市3町のホールを有する文化施設の相互利用に係る連携協定

1市3町の住民間の交流、芸術文化の振興、公の施設の利用促進を図るため、公の施設の相互利用に係る連携協定を締結しました。令和4年4月から、対象となる文化施設を1市3町の住民が利用した場合、施設所在地の市民・町民と同じ条件で利用することができます。

令和3年度 改革実績

置賜成年後見センターの設立

置賜定住自立圏構想の一つとして、置賜3市5町で置賜成年後見センターを設立し、その業務を米沢市社会福祉協議会に委託します。疾病や障がいなどの理由で判断能力が不十分な方々が、財産管理や日常生活での契約などで不利益をこうむらないように保護し支援していきます。単独の自治体では十分に対応ができなかった部分を、広域連携で対応していきます。

令和3年度 改革実績

まちづくりセンター移行への準備

令和3年度は、地区公民館から地区まちづくりセンターへの移行期間と位置付け、地域住民にとって最も身近な集いの場として、どのようにあるべきか協議を重ねました。また、住民が集う場であることから、Wi-Fi環境の整備を行いました。

令和3年度 進捗結果		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
1.a	目安	▲	→	→	→	◎
	結果	▲				
1.b	目安	▲	◎	→	→	→
	結果	▲				
1.c	目安	◎	→	→	→	→
	結果	◎				

GOAL2 積極的な情報受発信で開かれた行政にしよう

成果目標 新しい広聴スタイルの確立 **1** 件 (令和5年度までに)

- 2.a ホームページ、広報、行政メール等の既存ツールの効果等を検証し、必要に応じ、新しい情報発信ツールを導入します。町ホームページはスマートフォンやJIS規格対応に変更し、庁内において、プレスリリース手法を体系化し、効果的な行政情報を発信します。
- 2.b 女性や若者の町政への参画を促し、全ての住民の声が行政に届く環境を整えるため、各地区地域づくり座談会の在り方や広聴手法を再考するとともに、新たな手法を創出します。

令和3年度 改革実績

町ホームページのスマートフォン対応

町ホームページをスマートフォンでも見やすいようにシステム変更しました。これまでは、町ホームページをスマホで閲覧すると、文字や画像が小さく表示されたり、バナーボタンやリンクが小さく表示され、間隔も狭いため操作しづらかったのですが、これからは、スマートフォンの小さな画面でも閲覧しやすいようになりました。



令和3年度 改革実績

町民の生の声を聴くための「町長への手紙」

町民が普段感じているご意見やご提案をまちづくりに生かすため、「町長への手紙」の募集を始めました。広報折り込みの専用はがきや町ホームページから意見を寄せることができます。令和3年8月の開始から、これまで計24件の手紙が寄せられました。お寄せいただいた意見やその回答は、広報などで紹介しています。

令和3年度 改革実績

地域の若者主体による地域づくり座談会の開催

町内各地区では、町と地域課題について意見交換するため、「地域づくり座談会」を開催しています。これまでは、地域づくり座談会の主催は、各地区協議会等が行うことがほとんどでした。

令和3年度、地域づくり座談会に新しい動きが生まれました。小白川地区において、地域の声を行政に届けるため、地域の若い世代が実行委員会を組織し、実行委員会が主体となり座談会を開催しました。

令和3年度 進捗結果

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
2.a	目安	▲	○	◎	→	→
	結果	○				
2.b	目安	▲	◎	→	→	→
	結果	○				

成果目標

CO2排出量 **20** % 削減

(令和7年度までに令和元年度比)

- 3.a 「ゼロカーボンシティ宣言」の実効性を担保し、二酸化炭素排出抑制の着実な取組みを進めるため、公用車をガソリン車から電気自動車等(EV、PHV等)に段階的に移行します。
- 3.b 田園散居集落景観を後世に繋いでいくための景観計画策定の運用、それに基づくモデル保全地域を指定するなどにより、本町の良さを後世に伝えていきます。

令和3年度 改革実績

日本で最も美しい村「ビューティフルデー」スマート缶トリー大作戦

日本で最も美しい村を美しいままに。普段は見過ごしてしまう本町の美しさを再確認することを目的に、田園散居集落景観を後世に繋いでいくため、住民が町内の道路沿いのごみ拾いを行いました。本町が加盟する「日本で最も美しい村連合」の設立日に合わせ、清掃活動などを行う日本で最も美しい村ビューティフルデーの一環での実施です。

令和3年度 改革実績

田園散居集落等の研究成果の共有

田園散居集落を織りなす屋敷林などを研究調査するために、本町でフィールドワークを行う研究者や学生がたくさんいます。

筑波大学(茨城県)や名城大学(愛知県)の学生が、散居集落における景観特性や本町における茅利用の変遷などについて研究調査を行いました。これらの研究や調査の成果は、本町の景観や歴史的文化について学ぶ貴重な資産であるため、報告会を開催し、情報共有や意識醸成を図りました。

令和3年度 改革実績

SDGs普及推進員とゼロカーボン推進員を配置

令和3年10月、2名の地域おこし協力隊を配置しました。それぞれのミッションは、SDGsの普及とゼロカーボンの推進。どのような活動がSDGsにつながるのか、町民とともに考え、町民に伝えながら、活動を進めています。また、二酸化炭素(CO2)排出量の実質ゼロを達成するため、町の資源を活用した再生可能エネルギーの活用や経済性確立に繋がる取組みを検討していきます。

令和3年度 進捗結果

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
3.a	目安	▲	○	→	→	→
	結果	▲				
3.b	目安	▲	→	→	◎	→
	結果	▲				

GOAL4 公民連携や外部委託により民間活力を導入しよう



成果目標

PFI活用件数 **1** 件

(令和7年度までに)

- 4.a 町政運営に民間事業者のノウハウ等を活用するため、住民サービスや生産性の向上が見込める事業は積極的に外部委託します。
- 4.b 公共施設等の新規整備や大規模改修を行う場合は、公民連携(PPP・PFI)により、資金やノウハウを有する民間事業者の活用をはじめ、施設運営等は、地域のNPOや町内民間団体などの民間活力導入可能性を検討します。

令和3年度 改革実績

民間活力の導入による遊休公共施設利活用

現在休館中のホテルフォレストいいでなどについて、民間活力導入を含めた、今後の利活用手法を検討しました。

グランピング事業(*)を手掛ける民間事業者と協力し、中津川地区の大自然、地域資源を活用しての事業展開をしていく予定です。休館中の公共施設を有効活用することができ、町への誘客や町内経済への波及効果が見込まれることから、現在の指定管理者とも協議し進めています。

*グランピング事業

グラマラス(魅惑的な)とキャンピングを掛け合わせた造語で、テント設営や食事の準備などの煩わしさから旅行者を解放した「良い所取りの自然体験」に与えられた名称



ホテルフォレストいいで

令和3年度 改革実績

児童発達支援施設設立及び運営における民間活力の導入

障がいのある未就学の子どものための通所支援の一つである福祉型児童発達支援センターは、現在、町内にはなく、支援を必要とする子どもたちは近隣市町の施設を利用しています。療育や生活の自立のための支援を町内で受けることができるよう、施設の町内開設に向けて、民間事業者と調整を進めています。

令和3年度 進捗結果

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
4.a	目安	◎	→	→	→	→
	結果	○				
4.b	目安	→	→	→	→	◎
	結果	○				

GOAL5 様々な住民サービスに対応する柔軟な組織体制にしよう

成果目標

現行組織体制の 検証・見直し

(令和5年度までに)

- 5.a 行政課題に柔軟に対応できる機能的な組織体制を構築するため、現行組織機構のメリット、デメリットを検証し、組織機構の見直し、事務事業の配置(移管)を行います。
- 5.b 役場庁舎の立地不便性を解消するため、基礎的窓口業務(諸証明発行等)を出先機関で行える環境整備を段階的に実施していきます。
- 5.c 庁内事務処理の簡素化、決裁事務の迅速化を図るため、文書の收受、回覧、整理保管等を実態に即して見直し、可能な限り電子化を前提に改善します。

令和3年度 改革実績

住民票等の受領しやすい体制づくり

現在、住民票などの諸証明は、役場本庁舎のほかに健康福祉センターでも申請等ができます。住民の利便性向上を図るために、同様の行政サービスを出先機関でも行えるよう検討しました。

まちづくりセンターにその機能を付与することで、住民の利便性が向上することが見込まれるものの、セキュリティ等の面から解決すべき課題もあります。

また、日本郵便株式会社では、地方公共団体の委託を受け公的な証明書(戸籍の謄本、抄本や住民票、納税証明書、印鑑登録証明書等)を郵便局の窓口で交付できるよう進めています。民間事業者の取り組みと連携しながら、住民票等の受領しやすい体制整備を進めています。

令和3年度 進捗結果		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
5.a	目安	▲	○	◎	➡	➡
	結果	×				
5.b	目安	○	➡	◎	➡	➡
	結果	○				
5.c	目安	▲	○	◎	➡	➡
	結果	▲				

GOAL6 常に自己研鑽し自ら成長する職員を育成しよう

成果目標

外部機関への職員派遣 **3** 名

(毎年度)

- 6.a 先進的な行政手法の会得や人脈形成など、様々な体験を蓄積し、行政運営に生かすため、他行政機関や関係団体との人材交流(職員派遣)を積極的に行います。
- 6.b 外部機関を活用した階層別研修や専門研修を継続受講しながら、現任訓練(OJT)の不足を補い、職員個々の能力と組織力を向上させるため、実務的内部研修を行います。

令和3年度 改革実績

新たな職員研修の実施

職員研修は、山形県市町村職員研修所などの外部機関が実施する職位に応じた階層別研修や能力開発型の専門研修を受講することに加え、町単独の研修実施により職員の知識、技術、能力向上を図りました。

令和3年度は、新たな学びの場を準備しました。

1. 外部派遣職員が語る外から見た飯豊町
外部機関に派遣している職員を講師とし、外部機関での経験と外から見た飯豊町について学びました。
2. 正しい公文書作成研修
法令や告示、通知等を正しく作成するための用語や文章の在り方などを学びました。
3. ゲートキーパー講習会
生活や健康上の問題などにより、自殺の危険を抱えた人々に気づき適切にかかわる能力を身につけるためのゲートキーパー講習会を開催しました。



令和3年度 改革実績

職員派遣実績 (令和3年度)

1. 置賜広域病院企業団
2. 山形県
3. 山形県後期高齢者医療広域連合

令和3年度 進捗結果

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
6.a	目安	○	→	→	◎	→
	結果	○				
6.b	目安	▲	◎	→	→	→
	結果	○				

GOAL7 心身ともに健康で従事できる職場環境にしよう

成果目標

有給休暇取得日数 **10** 日

(令和7年度までに)

- 7.a 働き方改革関連法の趣旨を十分に踏まえ、時間外勤務の削減、適正な人材配置、業務負担の平準化に努め、多様な働き方を選択できる環境を実現するため、組織全体の労働環境を見直します。
- 7.b 職員の心身両面における健康保持のため、メンタルヘルス研修の実施、健康診断、ストレスチェックを定期的に行いながら、メンタル不調の早期発見、早期対処に努めるため、産業医面談の機会を拡充し、職員の不安や相談に柔軟に対応します。

令和3年度 改革実績

時間外勤務の見える化

職員の時間外勤務の状況は、管理職等が把握し業務負担の軽減に努めています。職員個々人の状況を正確に把握し、時間外勤務を削減するために、毎月の時間外勤務状況の見える化を行いました。



令和3年度 改革実績

内部統制の導入(快適業務デザイン)

信頼に足る行政サービスを提供する組織として、法令等を遵守し適正に業務を執行するため、潜在的に存在するリスクの想定、ヒヤリハット事案の庁内共有、公益通報の有効化などに係る基本方針を定めました。

令和3年度 改革実績

メンタルヘルス研修等の実施

職場環境の改善に繋げるため、メンタルヘルスの知識やセルフケアの技法習得を目的とした全職員対象の研修、部下の危険信号の早期発見等に繋げる管理職対象の研修などを実施しました。

令和3年度 改革実績

有給休暇取得日数

	令和元年	令和2年	令和3年
日数時間	7日4時間17分	7日2時間33分	8日1時間15分

令和3年度 進捗結果

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
7.a	目安	▲	○	◎	→	→
	結果	○				
7.b	目安	○	→	◎	→	→
	結果	◎				

GOAL8 時代と社会環境を見据えて行政のデジタル化を進めよう

成果目標

電子申請可能業務 **5** 件

(令和7年度までに)

- 8.a 住民の利便性を向上及び「新しい生活様式」移行の観点から、書面、押印、対面主義から脱却し、申請・届出事務(添付書類の見直し等)のスキームを全面的に見直し、行政事務における電子申請を利用できる環境を整備します。
- 8.b 業務の効率化を図り、住民サービスの向上に繋げるため、RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)やICT(情報通信技術)、AI(人工知能)、Web会議やオンライン研修等を導入していきます。

令和3年度 改革実績

行政手続に係る押印の見直し

行政手続のデジタル化及び簡素化を進め、住民の利便性向上を図るため、住民等が行う申請手続等における押印及び署名について見直しを実施しました。
関係条例の改正を、令和4年3月議会に提案し、令和4年4月から施行します。約900件の行政手続について、押印が不要になります。ただし、法律などにより押印が義務付けられているもの、登記印や登録印との照合が必要であるものなどの手続は、これまでどおり押印が必要です。

令和3年度 改革実績

飯豊町情報化推進委員会設置による自治体DXの推進

情報化施策全般を検討、遂行するため、庁内に管理職で構成する情報化推進委員会を設置しました。委員会内に職員で構成する検討部会を設置し、個人情報保護や機密漏洩の防止対策などを定めたセキュリティポリシーの更新、町ホームページの整理などを行いました。自治体DXの推進を加速させるため、令和4年度からはデジタル人材を導入します。

令和3年度 改革実績

RPA導入テスト

RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)を導入することで効率化を図ることができる業務を抽出し、民間事業者サポートのもと、導入に向けたテストを実施しています。

令和3年度 改革実績

やまがたe申請の活用 (2件)

- ・飯豊町学生生活支援事業(企画課)における申請事務 (電子申請41件)
- ・いいで黒べこ「冬の陣」(農林振興課)における申請事務 (電子申請371件、はがき申請137件)

令和3年度 進捗結果

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
8.a	目安	▲	○	◎	→	→
	結果	○				
8.b	目安	▲	○	◎	→	→
	結果	▲				

GOAL9 全体最適の視点をもち組織内の横連携を強化しよう

成果目標

他部署の取組みへの提案・助言 **2** 件

(令和7年度までに)

- 9.a 高度化する行政課題解決に向けて、単一の部署による対応だけではなく、複数の部署が連携し、課題に柔軟に対応するため、横断的なプロジェクトチームを結成します。
- 9.b 他部署が取り組む業務について、外部から意見やアイデアを提案・助言できる仕組みを創出するとともに、他部署の業務を互いに学べる研修を実施します。

令和3年度 改革実績

プロジェクト推進ワーキンググループ設置による町政施策の推進

令和3年度からスタートした第5次飯豊町総合計画及び第2期飯豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略を着実に推進するため、第2期飯豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略に定める主要20プロジェクトについて、施策担当者とは課職員による20のワーキンググループを設置しました。メンバーは、定期的集まり、担当プロジェクトの進捗確認を行いながら、外部講師のアドバイスを参考に今後の方向性などを協議しました。

町の主要プロジェクトを着実に前進させるだけでなく、全体を俯瞰し横断的連携につなげることや自身の政策形成能力を向上させることなども目的としています。

このプロジェクト推進ワーキンググループで検討され、令和4年度事業として予算要求された事業が2件ありました。しかし、事業精度や財政状況などの理由から、いずれも予算措置には至りませんでした。

令和3年度 改革実績

庁内提案募集による行政事務の改善

行政事務に対する改善提案を庁内募集し、50件の改善提案がありました。提案内容を飯豊町行財政改革検討委員会で協議し、庁内の事務全体に関わるもの、予算措置を伴わないもの、生産性や緊急性の高さなどから判断し、11件の案件を担当部署に改善提案しました。改善が可能なものから、段階的に着手します。

令和3年度 進捗結果

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
9.a	目安	▲	→	○	→	◎
	結果	○				
9.b	目安	▲	→	○	→	◎
	結果	○				

GOAL10 マイナンバーカードを徹底活用しよう

成果目標

マイナンバーカードへの機能付与 **3** 件

(令和6年度までに)

- 10.a 住民の生活利便性を向上させるため、マイナンバーカードの多目的利用に繋がる住民サービスを創出(事業化)します。
- 10.b 住民サービスの利便性を向上するため、マイナンバーカードの取得、活用に向けた住民への普及啓発、周知広報活動を行います。

令和3年度 改革実績

休日や出張による申請受付などによるマイナンバーカードの積極的な交付

平日の開庁日だけではなく、休日を利用したマイナンバーカードの申請受付や交付を行いました。また、新型コロナワクチンの集団接種会場での啓発や、町県民税の申告期間に合わせ、町民総合センターに受付ブースを設けて普及啓発を行いました。

令和3年度 改革実績

置賜管内市町のマイナンバーカード交付件数等 (令和4年2月20日現在)

	人口	交付数	交付率	県内順位
飯豊町	6,824	3,393	49.72%	1位
米沢市	78,965	32,259	40.85%	5位
長井市	26,159	11,372	43.47%	4位
南陽市	30,740	11,318	36.82%	20位
高畠町	22,834	9,144	40.05%	8位
川西町	14,707	5,578	37.93%	13位
小国町	7,248	3,267	45.07%	2位
白鷹町	13,256	4,900	36.96%	19位

出典 地方公共団体情報システム機構

令和3年度 進捗結果

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
10.a	目安	▲	○	→	◎	→
	結果	○				
10.b	目安	◎	→	→	→	→
	結果	◎				

GOAL11 有事に備えたりスクマネジメントをしよう

成果目標

業務継続計画(BCP) **見直し・運用**

(令和5年度までに)

- 11.a 大規模災害時、資源(人、物、情報等)等に制約を受けた中で、一定の業務を的確に行うために、その基本的方針を定める業務継続計画(BCP)を見直し、内部体制を整備します。
- 11.b 記録的な豪雨や豪雪、それらに起因する土砂災害など、あらゆる災害等に対応するため、「飯豊町地域防災計画」を随時見直し、住民参加型の町総合防災訓練で、有事への対応を訓練します。

令和3年度 改革実績

飯豊町地域防災計画の見直し

令和3年7月、飯豊町地域防災計画の見直しに着手しました。現在は、山形県関係部署や山形地方気象台等との協議を終え、飯豊町防災会議での審議を経て改定完了となります。

改定の内容は、新型コロナウイルス感染症を踏まえた災害対応を加えるほか、令和3年5月に改正された災害対策基本法に基づき、避難勧告を廃止し、避難指示とすることを盛り込むなど、現状に即した計画に変更します。

令和3年度 改革実績

飯豊町業務継続計画(BCP)の見直し

飯豊町地域防災計画の見直しと並行し、飯豊町業務継続計画(BCP)の見直しを行いました。非常時に優先すべき業務の整理や、電気、水、食料等の確保、災害時にもつながりやすい多様な通信手段の確保など、大規模災害等の非常事態が発生し、資源制約が伴う条件下においても、行政機能を維持するための準備を整えました。

令和3年度 改革実績

飯豊町業務継続計画(新型コロナウイルス感染症対応)の策定

新たな変異株による新型コロナウイルス感染症拡大が進む中、職員の間で感染者が拡がり出勤困難になった場合であっても、行政としての機能維持及び必要な業務継続を図る必要があることから、令和4年2月、飯豊町業務継続計画(新型コロナウイルス感染症対応)を策定しました。

通常業務の遂行が困難となった場合に優先的に対処すべき「応急業務」を定めるほか、通常業務を感染状況等に応じ優先して遂行する順に「継続業務」、「縮小・延期業務」、「休止業務」に整理するなど、業務継続に必要な基本的事項を定めました。

令和3年度 進捗結果		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
11.a	目安	▲	○	◎	→	→
	結果	○				
11.b	目安	◎	→	→	→	→
	結果	◎				

GOAL12 公金管理体制を強化し税収を確保しよう

成果目標 町税収納率 **99.0** % (毎年度・現年分)

- 12.a 税負担の公平性の担保、適正な債権管理を行うため、個々の債権を各課で管理している既存体制を見直し、庁内徴収体制を最適化します。
- 12.b 納付忘れを防止するための口座振替や時間にとらわれない納付が可能となるコンビニ収納などの利用を促進すると同時に、住民の納税等の利便性を高めるため、キャッシュレス決済など新たな収納方法を導入します。

令和3年度 改革実績

町税などのキャッシュレス決済の導入

町税などの納付について、令和3年4月からこれまでの納付方法(金融機関での窓口払い、口座振替、コンビニ納付)に加え、「PayPay」と「LINE Pay」で納付することが可能になりました。納付書に印字されているバーコードをスマートフォンアプリのカメラで読み取ることで、自宅で簡単に納付できます。

令和3年度 改革実績

徴収強化期間設定による訪問徴収

令和3年12月に徴収強化期間を定め、税務会計課の担当職員だけではなく、管理職も含めた町税等の訪問徴収を行いました。

令和3年度 改革実績

町税の収納率 (現年分のみ・滞納繰越分含まず)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収納率	98.7%	98.8%	98.8%

*町税には、個人町民税、法人町民税、固定資産税、軽自動車税、市町村たばこ税、入湯税を含みます。

令和3年度 進捗結果

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
12.a	目安	▲	◎	→	→	→
	結果	▲				
12.b	目安	◎	→	→	→	→
	結果	◎				

GOAL13 新たな対策で税外収入を確保しよう

成果目標

ふるさと納税寄附額 **7** 億円

(5年間で)

- 13.a ふるさと納税制度は、本町のPR、交流人口及び関係人口の増加、地域産業の好循環などメリットが多いことから、積極的な広告活動、魅力的な返礼品開発、リピーターの確保などにより、安定した財源確保に取り組みます。
- 13.b 公共施設PRを兼ねたネーミングライツ導入や町ホームページや各種印刷物、公用車等への広告掲載、クラウドファンディングなど、新たな財源を確保するため、税外収入増の取組みを進めます。
- 13.c 使用料を徴収する公共施設の稼働率の向上、受益と負担の公平性の観点からの手数料や使用料、減免対象の見直しなど、様々な資産活用の推進を図り財源の確保に努めます。

令和3年度 改革実績

めざまの里応援寄附金(ふるさと納税)

令和3年4月、返礼品メニューを見直し、本町のPRを行ってきました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症による巣籠り需要などが追い風となり、寄附金額が伸びていたものの、令和3年度前半は寄附金額が伸びない時期が続きました。令和3年度は、前年度と同様に「ふるさとチョイス」での広告宣伝に加え、新しいチャンネルとして「さとふる」を利用して、本町のPRを行い、前年度に近い寄附金額となる見込みです。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込)
寄附金額	46,590,692円	147,626,713円	137,847,000円

令和3年度 改革実績

飯豊町民スポーツセンター屋内グラウンドの利用料金の見直し

飯豊町民スポーツセンター屋内グラウンドを人工芝コートに改修したことから、維持管理経費の見直しに伴う使用料の改正を行いました。これまでは、1時間あたり160円であった使用料を、令和4年1月から、1時間あたり310円に改正しました。



飯豊町民スポーツセンター
屋内グラウンド

令和3年度 進捗結果		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
13.a	目安	◎	➡	➡	➡	➡
	結果	◎				
13.b	目安	▲	➡	➡	◎	➡
	結果	×				
13.c	目安	▲	○	◎	➡	➡
	結果	▲				

GOAL14 恒常的で生産性の低い歳出を抑制しよう

成果目標 町単独補助金 **20** %削減 (令和6年度までに令和元年度比)

- 14.a 限られた財源を公正かつ効率的に使用するため、行政としての補助すべき必要性を検証しながら、運営補助金は節減、奨励補助金は終期設定を行います。町単独補助金の整理適正化を行い、事業の公表を進めます。
- 14.b 各種団体へ加盟する意義・効果を最大限発揮するため、関係団体の財務状況、余剰金等を精査し、負担金及び会費の適正化を図ります。
- 14.c 歳出経費の縮減を図るため、運用体制や調達手法の見直しや改善を行い、公共施設等の光熱水費、清掃、警備費用等の維持管理経費削減を行います。

令和3年度 改革実績

予算執行に係る附帯条件の設定

令和3年度当初予算において、各事業の執行における附帯条件を設定し、所管課に通知しました。

具体的には、事業執行にあたり、競争の原理を働かせて発注すること、事業の趣旨、手法を再考して実施すること、事業内容を住民等に広く周知して事業実施することなどです。また、補助金の終期設定や外部資金調達の努力をすることなどを条件づけました。

令和3年度 進捗結果		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
14.a	目安	▲	○	→	◎	→
	結果	○				
14.b	目安	▲	◎	→	→	→
	結果	▲				
14.c	目安	▲	◎	→	→	→
	結果	▲				

GOAL15 特別会計の健全経営を目指そう

成果目標

特別会計繰出金 **1.5億円** 削減

(5年間で令和元年度比)

- 15.a 国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計及び介護保険特別会計を健全化・自立化するため、保健事業や予防事業等を強化することで介護認定者数や認定率を抑制し、医療費及び介護給付費の抑制を図ります。
- 15.b 訪問看護特別会計及び介護老人保健施設特別会計の将来にわたる安定的な公営企業経営を行うため、中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」を策定し、「経営戦略」に基づいた公営企業経営を行います。
- 15.c 下水道事業特別会計において、アセットマネジメントの推進、事業の透明性の向上を図るため、特別会計から公営企業会計へ移行します。

令和3年度 改革実績

経営戦略策定の準備（訪問看護特別会計及び介護老人保健施設特別会計）

令和4年度の経営戦略の策定を目指し、山形県が主催する研修会に参加し、経営戦略に関する基本的考え方、各事業の特性を踏まえた内容の検討などの指導を受けました。

令和3年度 改革実績

地方公営企業会計への移行準備（下水道事業特別会計）

令和6年度からの地方公営企業法適用に向けて、固定資産や受領資産の調査整理などを進めました。

令和3年度 改革実績

一般会計から各特別会計への繰出金の推移

(単位:千円)

	国民健康 保険 特別会計	後期高 齢者 医療 特別会計	介護保 険 特別会計	訪問 看護 特別会計	介護老 人保 健施 設 特別会計	下水 道 事 業 特 別 会 計
令和元年度 実績	86,533	38,374	164,311	6,147	110,850	267,960
令和2年度 実績	79,579	35,920	163,557	9,000	138,920	280,300
令和3年度 見込	96,476	34,659	148,198	9,509	140,909	279,468

令和3年度 進捗結果

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
15.a	目安	◎	→	→	→	→
	結果	○				
15.b	目安	▲	→	○	◎	→
	結果	▲				
15.c	目安	▲	→	→	◎	→
	結果	▲				

GOAL16 適正な入札発注制度を実行しよう

成果目標 電子入札制度 導入・運用

(令和7年度までに)

- 16.a 受発注に係る競争性・公平性を向上させるため、随意契約で実施している事業について、競争の原理を働かせる余地はないか、発注時に再考します。
- 16.b 事業者、行政双方の入札事務の省力化を図るため、電子入札制度導入を検討します。

令和3年度 改革実績

なし

令和3年度 進捗結果		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
16.a	目安	◎	→	→	→	→
	結果	×				
16.b	目安	▲	→	→	→	◎
	結果	×				

GOAL17 公有財産を適正にマネジメントしよう

成果目標

公共施設保有総量 **3** %削減

(令和7年度までに平成29年度比)

17.a 「飯豊町公共施設等総合管理計画」及び「飯豊町個別施設計画」に基づき、中長期的な視点でのマネジメントを行いながら、除却や譲渡、統廃合を進め、公共施設の保有総量を縮減します。

令和3年度 改革実績

農村環境改善センター解体に向けた準備

「飯豊町個別施設計画(令和3年3月策定)」において、10年以内(令和12年度まで)に解体撤去すると定めた6施設のうち、農村環境改善センターの解体に向けて、施設内に保管している行政文書等の一部を搬出しました。

公共施設管理において、行動計画にあたる「飯豊町公共施設等総合管理計画(令和3年3月改定)」と、長寿命化計画にあたる「飯豊町個別施設計画(令和3年3月策定)」に基づき、中長期的な視点でのマネジメントを行いながら、除却や譲渡、統廃合を進めています。

－飯豊町個別施設計画－

10年以内(令和12年度まで)解体撤去施設

- 特別豪雪地帯克雪管理センター(下屋地地内)
建設1975年 経過年数46年
延床面積361 m²
- コミュニティセンター(萩生地内)
建設1974年 経過年数47年
延床面積1,009 m²
- 農村環境改善センター(手ノ子地内)
建設1980年 経過年数41年
延床面積684 m²
- 休養施設とよさと荘(須郷地内)
建設1976年 経過年数45年
延床面積526 m²
- 旧中津川小中学校岳谷分校(岩倉地内)
建設1948年 経過年数73年
延床面積199 m²
- 旧中津川小学校(校舎)(下屋地地内)
建設1978年 経過年数43年
延床面積1,277 m²



農村環境改善センター(手ノ子地内)

令和3年度 進捗結果

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
17.a	目安	▲	◎	→	→	→
	結果	▲				